

# 2018年度 事業報告書

[2018年6月～2019年5月]



特定非営利活動法人  
地域の未来・志援センター

2019年 8月 3日



# 目 次

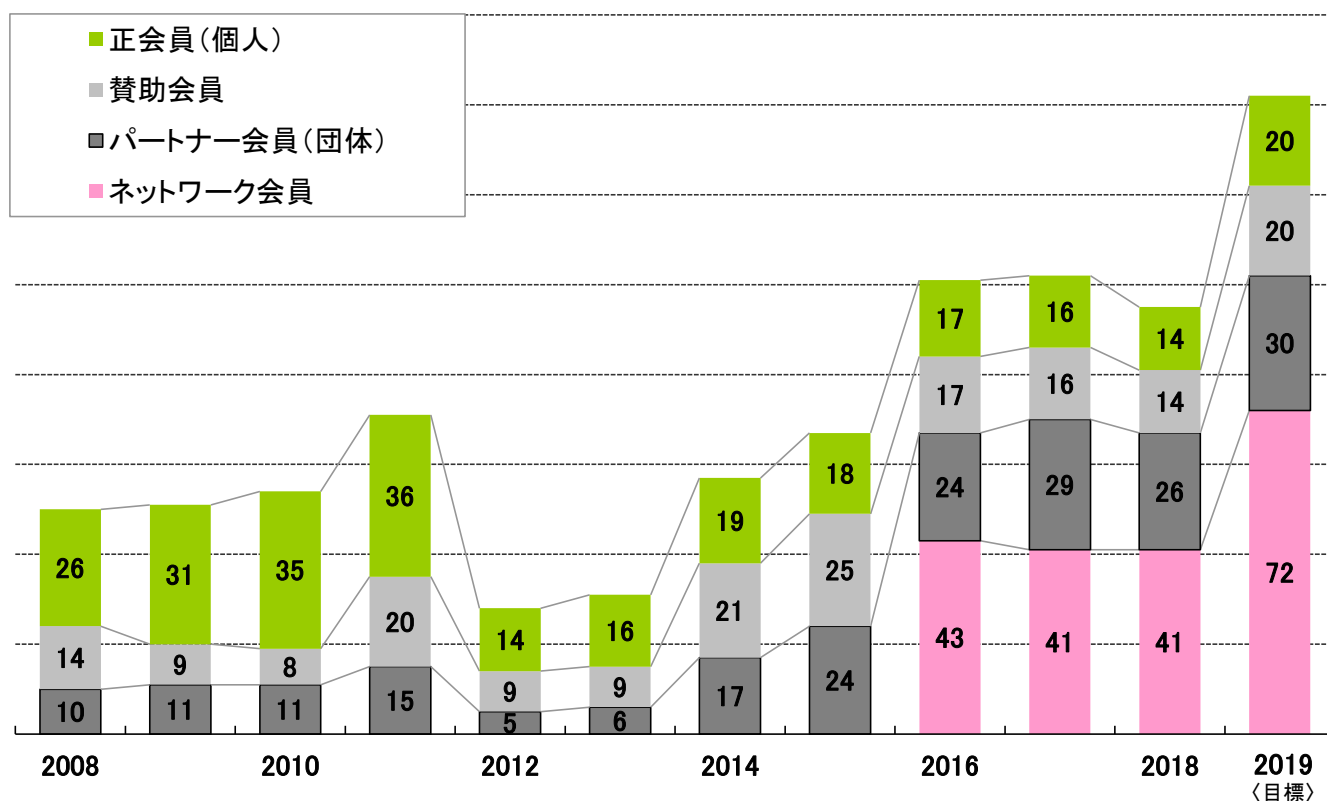
|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| 1. 会員数の推移                              | 4  |
| 2. 各事業実施報告                             | 6  |
| ①ヒト・情報交流&つながり場づくり                      |    |
| ①-1 「山川里海 情報交流会」                       | 7  |
| ①-2 HP, ML, FBによる情報受発信+環境&SDGs関連情報共有促進 | 9  |
| ②人材発掘・育成                               |    |
| ②-1 アクティブラーニング事業「里山インキュベーターいびがわ入門講座」   | 9  |
| ②-2 「資金調達よくばりセミナー」                     | 11 |
| ②-3 NPOセンタースタッフ・スキルアップ支援               | 14 |
| ②-4 流域思考とSDGsを結ぶ人材育成 →「未来創造プログラム」へ     | 15 |
| ②-5 地域デザイン実証事業「豊森なりわい塾」第八期             | 16 |
| 3. 総会および理事会・運営会議の開催                    | 18 |
| 1. 第14回通常総会                            | 18 |
| 2. 2018年度理事会                           | 18 |
| 3. 2018年度運営会議                          | 19 |



# 1. 会員数の推移

会 員 数：95（2019年6月現在）

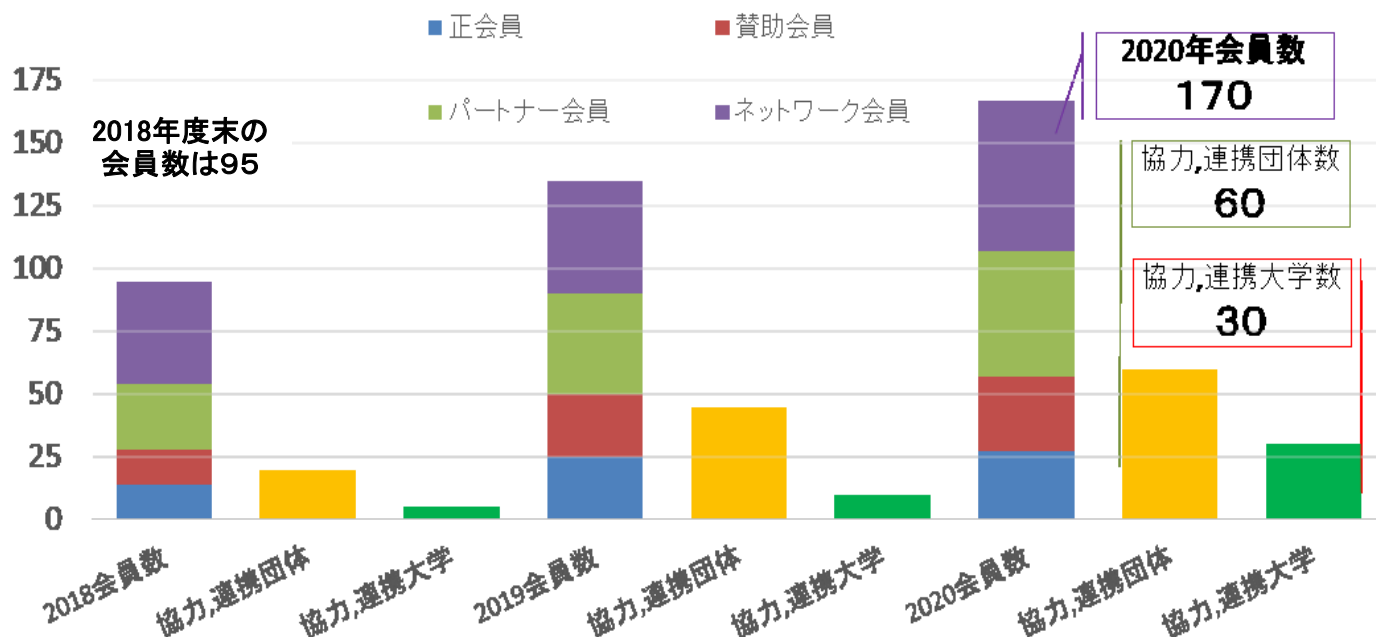
|         |      |          |          |
|---------|------|----------|----------|
| 正 会 員   | 14名  | 賛助会員     | 14名      |
| パートナー会員 | 26団体 | ネットワーク会員 | 3組織・41団体 |



## ❖ 協力・連携団体

環境保全・持続可能な社会をめざしてともに取り組む3県のネットワーク

近年、市民活動は少子高齢化、人口減少が進む中で、世代交代やSDGsの浸透に見られるような分野横断的な活動へのシフトが始まっており、市民活動全体が再編期に入っていると考えられる。そのような中、団体の組織維持のモチベーションが低下し、会員制度そのものも見直す時期と考えられる。そのような考えのもと、会員登録にこだわらず、再編や人材育成・若者支援等で協力しあえる多様な主体との連携を進めており、2018年度末時点では、次ページのような組織との連携を深めている。

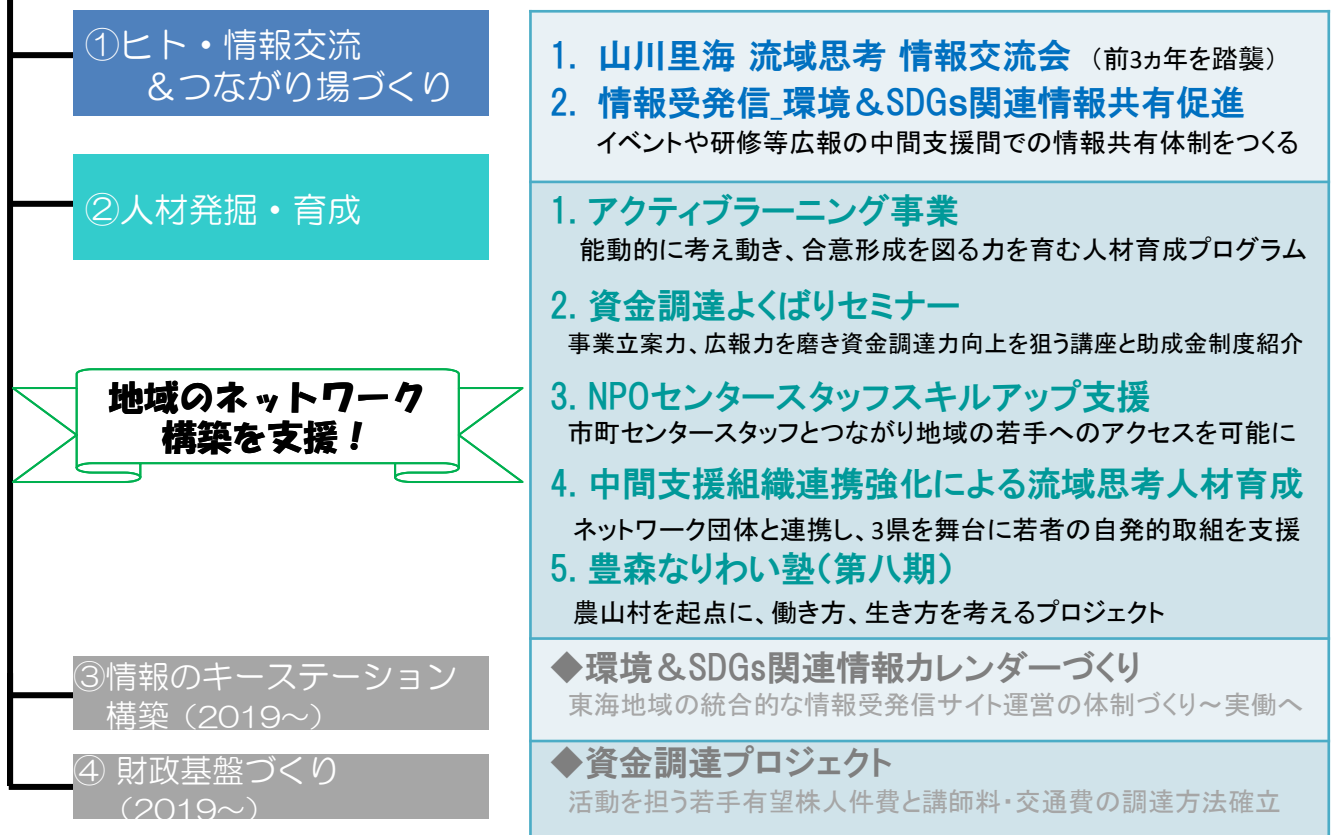


## 人材発掘・育成のしくみづくりにともに取り組む3県のネットワーク

| 県        | 組織名                        |
|----------|----------------------------|
| 岐阜       | 西濃環境NPOネットワーク              |
| 愛知       | 渥美半島環境活動協議会                |
| 三重       | いなべの里山を守る会                 |
| 岐阜       | 特定非営利活動法人 いびがわミズみずエコステーション |
| 愛知       | あかばね塾                      |
| 岐阜       | 特定非営利活動法人 泉京・垂井            |
| 愛知       | 環境ボランティアサークル亀の子隊           |
| 愛知・岐阜・三重 | 22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会          |
| 岐阜       | 特定非営利活動法人 森と水辺の技術研究会       |
| 愛知       | 愛知・川の会                     |
| 三重       | 特定非営利活動法人 四日市ウミガメ保存会       |
| 愛知・岐阜・三重 | 東海市民社会ネットワーク               |
| 愛知・岐阜・三重 | 認定特定非営利活動法人 名古屋NGOセンター     |
| 愛知・岐阜・三重 | 東大手の会                      |
| 愛知       | 一般社団法人奏林舎                  |
| 三重       | 魚と子どものネットワーク               |
| 三重       | 四日市公害と環境未来館                |
| 岐阜       | 認定特定非営利活動法人 まちづくりスポット      |
| 愛知       | 藤前干潟クリーン大作戦実行委員会           |
| 愛知・岐阜    | 土岐川・庄内川源流の森委員会             |
| 愛知・岐阜    | NPO土岐川・庄内川サポートセンター         |
| 三重       | 特定非営利活動法人 市民社会研究所          |
| 三重       | チベット友の会                    |
| 岐阜       | 特定非営利活動法人ぎふNPOセンター         |
| 愛知       | こどもフォーラム                   |
| 愛知       | 不戦へのネットワーク                 |
| 愛知・岐阜・三重 | 中部ESD拠点                    |
| 愛知       | アジア保健研修所                   |
| 三重       | 特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター  |
| 愛知・岐阜・三重 | 一般社団法人 SDGsコミュニティ          |
| 愛知・岐阜・三重 | 環境省 中部環境パートナーシップオフィス       |

## 2. 各事業実施報告

事業年度:2018年6月1日～2019年5月31日



| 事業                            | 6月                                         | 7月         | 8月         | 9月                             | 10月        | 11月        | 12月         | 2019<br>年1月     | 2月                  | 3月                  | 4月    | 5月  |
|-------------------------------|--------------------------------------------|------------|------------|--------------------------------|------------|------------|-------------|-----------------|---------------------|---------------------|-------|-----|
| 山川里海<br>情報交流会                 | コラボ団体・ネットワークとの協議、打ち合わせ、団体企画会議              |            |            |                                |            |            |             |                 | 交流会開<br>催           | 報告書作成<br>次年度企画検討開始  |       |     |
| 里山インキュー<br>ターいびがわ<br>入門講座     | ●第1回<br>講座                                 | ●第2回<br>講座 | ●第3回<br>講座 | ●第3回<br>講座                     | ●第4回<br>講座 | ●第4回<br>講座 | ●第5回<br>講座  | ●第5回<br>講座      | ●第6回<br>講座          | 次年度事業準備<br>『流域圏調査』へ |       |     |
| 資金調達よくば<br>りセミナー（助<br>成金セミナー） | ●開催地各組織と協働                                 |            |            | ●本セミナー開催<br>→アフターフォロー<br>報告書作成 |            |            | 申請<br>書W.S. | ●次年度開催地各組織と協議開始 |                     |                     |       |     |
| NPOセンタース<br>タッフ支援             | ●通算第5回<br>愛知県瀬戸市                           |            |            | ●報告書・3県のセンター<br>へ展開（学びの共有）     |            |            | ●第6回打合せ     |                 | ●通算第6回<br>会場ウイックあいち |                     |       |     |
| 中間支援連携強<br>化による流域思<br>考人材育成   | 協働について協議→「SDGs&流域思考による未来創造プログラム」準備・呼掛け団体発足 |            |            |                                |            |            |             |                 |                     |                     |       |     |
| 情報受発信<br>環境&SDGs 関<br>連情報共有促進 | 情報受発信（メールニュース/月2回発行、HP/月2回更新、FB/適宜発信）      |            |            |                                |            |            |             |                 |                     |                     |       |     |
|                               | 環境&SDGs 関連情報共有促進（東海市民社会ネットワーク 幹事会・研究会）     |            |            |                                |            |            |             |                 |                     |                     |       |     |
|                               | 幹事会                                        | 幹事会        |            | 幹事会                            | 幹事会        | 幹事会        | 幹事会         | SDGs<br>研究会     | SDGs<br>研究会         | 幹事会                 | 総会    |     |
| 豊森なりわい塾<br>第八期                | ●第2回<br>講座                                 | ●第3回<br>講座 | ●第4回<br>講座 | ●第5回<br>講座                     | ●第6回<br>講座 | ●第7回<br>講座 | ●第8回<br>講座  | ●第9回<br>講座      | ●第10回<br>講座         | ❖修了式                | ❖第九期→ |     |
| 事務局                           |                                            | 運営会<br>議   | 総会<br>理事会  |                                | 運営会<br>議   | 理事会        |             | 理事会             | 運営会<br>議            | 運営会<br>議            |       | 理事会 |



# ①-1

## ヒト・情報交流 & つながり場づくり

### 「山川里海 情報交流会」

～そろそろ真剣に向き合ってみませんか!?～

『次世代』からのメッセージ～



- 日時：2019年2月23日（土）10：30～19：00
- 会場：名古屋国際センター5F 第一会議室
- 参加費：一般500円、学生無料
- 主催：一般財団法人セブン-イレブン記念財団、NPO法人地域の未来・志援センター
- 共催：22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会、森と水辺の技術研究会
- 協力：愛知・川の会、渥美半島環境活動協議会、西濃環境NPOネットワーク  
NPO法人泉京・垂井、東海市民社会ネットワーク、NPO法人四日市ウミガメ保存会  
藤前干潟クリーン大作戦実行委員会
- 後援：愛知県、岐阜県、三重県、環境省中部地方環境事務所
- 参加者数：一般参加者40名（うち学生14名）

#### ◆開催概要

内容：東海3県の環境団体の連携をさらに充実させるため、3県共通理念『流域思考』をベースに講演会、ワークショップ、交流タイムを設定。SDGsの『エネルギー』『働きがい』『つくる責任 つかう責任』『気候変動・災害』『海の豊かさ』『陸の豊かさ』『気候変動・災害』等のテーマについて話し合った。

#### 第1部【基調講演】ブルーカーボンと世代を超えた取り組みについて

講師：木村 尚(たかし)さん

(NPO法人 海辺つくり研究会 理事・事務局長)



木村さんからは、豊かな海を取り戻すために、いかに関心のない人々を巻き込むか、また、行政や企業との連携を進めてきた経験について、実績に裏打ちされた説得力のあるお話を伺うことができました。会場からは、多くの質問が寄せられ、その一つ一つに丁寧に応えていただきました。

#### 第2部 次世代がつくるワークショップ『何を想う？イマドキの大学生』

##### ◆ワークショップ概要

22世紀奈佐の浜プロジェクト（以下、奈佐の浜P）から生まれた「学生交流会」のメンバーが中心となり、ワークショップを行いました。1年を通じた取り組みの報告から始まり、アイスブレイク、ランチミーティング、「面白い環境活動を考える」ワールドカフェが行われました。



アイスブレイクのメンバーで昼食タイム。ベテラン・若者混在グループで世代間交流。会話が弾みました！

### 第3部 【6つのテーマで分科会】『とにかくお話』

| 分科会テーマ              | 話題提供                                            | 進行（理事） |
|---------------------|-------------------------------------------------|--------|
| ① <u>海の豊かさを守ろう</u>  | 谷崎仁美さん（なたね通信 鈴鹿川清掃担当、自然観察指導員三重連絡会 事務局長）         | 渡邊理事   |
| ② <u>陸の豊かさを守ろう</u>  | 坂本竜児さん（エコデザイン市民社会フォーラム）＊豊田市旭小渡へ移住               | 事務局    |
| ③ <u>エネルギー</u>      | 野村典博さん（森と水辺の技術研究会 代表）＊再エネ推進のしくみづくりについて          | 竹内理事長  |
| ④ <u>気候変動と災害</u>    | 小野月比古さん（名古屋ひがし防災ボランティアN.W. 代表）＊近年激甚化する自然災害の現場より | 小野理事   |
| ⑤ <u>働きがいも経済成長も</u> | 根岸恵子さん（多世代学びあいネットワーク 代表）＊働き方って、生き方だ！            | 辻理事    |
| ⑥ <u>つくる責任・使う責任</u> | 永田秀和さん（中部リサイクル運動市民の会 代表）＊3R 推進事業について            | 中川副理事長 |



#### ーあなたはこの日、何人と語り合えますか？ー

第3部の分科会では、参加者が上記のテーマに分かれて話し合いを行いました。まずは、15分間ほどの事例紹介。その後、「若者のWSでの（若者と交流しての）気づき」「現状、課題と思うこと」「あるべき論にとらわれない解決の方途」の3つのお題について話し合いを行いました。



#### 【収支】

|    |              |                           |
|----|--------------|---------------------------|
| 収入 | ： 1,673,181円 | セブン-イレブン記念財団運営・事業助成、参加費収入 |
| 支出 | ： 1,762,083円 | 人件費、通信費、広報、講師謝金、旅費交通費等    |

【成 果】大学生支援企画『未来創造プログラム』を多様な団体と協働実施する流れが作られた  
 今年度の情報交流会は、環境活動を持続可能なものとするために「世代間交流」「若者活動支援」をテーマに企画した。②－4人材発掘・育成事業と連動させ、22世紀奈佐の浜PJ委員会の協力を得て、大学生主体のプログラムを実施。地域や各活動に求められる若い力を皆で発掘し、伸ばしていくことの大切さを確認し合いました。また、本交流会を創り上げるプロセスで、次年度より、若者支援活動を協働で取り組む流れができた。



↑2月23日の若者企画のきっかけとなった『学生交流会』@三重県答志島



↑2月23日の参加者みんなで記念撮影





## ①-2

### ヒト・情報交流 & つながり場づくり

### HP. ML. FBによる情報受発信

### +環境 & SDGs 関連情報共有促進

【内容】 \* 自団体の広報業務は、従来通り。

\* 中間支援組織間の連携により、3県の催事・研修会等の日程の共有を進める

【方法】 3県の中間支援組織の連携により運営される東海市民社会ネットワークの幹事会に参加し、環境・SDGs関連情報の連絡体制構築に参加。

#### ◆情報発信目標

| 実施項目 | メールニュース<br>の発信 | HPの更新         | 成果評価指<br>標 | メール配信先<br>数 | FBいいね！<br>数 |
|------|----------------|---------------|------------|-------------|-------------|
| 目標   | 年間24回          | 月2回／<br>年間24回 | 目標         | 900件        | 1000        |
| 実績   | 22回<br>(月2回)   | 13回           | 実績         | 705件        | 909         |

#### 【収支】

収入 : 464,870円 セブン-イレブン記念財団運営助成  
支出 : 464,870円 人件費、通信費、広報、旅費交通費等

【成果】 東海3県内の中間支援組織と情報共有を行う基盤ができた

下記団体との連絡体制ができ、ネットワーク間の広報協力依頼ができるようになった。

《連携が進んだ組織》みえNPOネットワークセンター、ぎふNPOセンター、名古屋NGOセンター  
市民社会研究所、泉京・垂井、中部ESD拠点、森と水辺の技術研究会 他

## ②-1 人材発掘・育成

### アクティブラーニング事業

### 『里山インキュベーターいびがわ入門講座』



- 日時 : 2018年6月～2019年3月
- 会場 : 揖斐川中・下流域
- 共催 : NPO法人泉京・垂井
- 協力 : 一般社団法人ヤマノカゼ舎
- 参加者数 : 107名
- 内容 : 全9回《座学4回、実践編5回》

#### ③先行事例を学ぶ地域視察



①先行事例を学ぶ座学



②合意形成のための  
コミュニケーション講座



#### 【収支】

収入 : 1,848,064円 セブン-イレブン記念財団運営助成 他  
支出 : 1,754,156円 人件費、通信費、広報、印刷製本費、旅費交通費等

## アクティブラーニング事業

### 『里山インキュベーターいびがわ入門講座』

#### ◆実施内容

(敬称略)

|     | 回 | 日にち                                          | タイトル・場所など                          | 講師                            | 内容                                                                               |
|-----|---|----------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 講座  | 1 | 2018/6/24(日)<br>(参加：24名)                     | 「生きがい×なりわい」                        | 多田ひろき<br>(ナチュラルファーム cocoro)   | 岐阜県揖斐川町で自家採種した固定種を有機栽培&自然栽培、農業体験会を開催している多田ひろきさんの話を伺い、幸せな働き方って何？豊かさって何？を考えるWSを実施。 |
|     | 2 | 2018/8/4(土)<br>(参加：6名)                       | 「揖斐川中・下流ツアー」                       |                               | 垂井町や輪之内町で循環型社会をめざして活動する人々の現場をみたりお話を聞いたりした。                                       |
|     | 3 | 2018/9/29(土)<br>(9/30(日)は台風のため中止)<br>(参加：9名) | 「合意形成に王道はあるのか？コミュニケーションワークショップ」    | 油田晃 (パフォーミングアーツネットワークみえ 代表理事) | 地域での「コミュニケーション」を演劇の手法を使ったワークショップで考えた。                                            |
|     | 4 | 2019/1/12(土)<br>(参加：8名)                      | 「続・合意形成に王道はあるのか～コミュニケーションワークショップ～」 | 油田晃 (同上)                      | 9/30の代講。言葉以外のコミュニケーションを学び、座り・立ち位置、態度の工夫で話の印象・対人関係が変わること等を疑似体験し学んだ。               |
| 座談会 | 1 | 2018/7/11(水)<br>(参加：20名)                     | 「スープ屋さん」                           | 永田麻沙子                         | 今、西濃地域で人気の『スープ屋さん』を営むご夫婦からお話を伺った。実はお二人、飲食店をやりたいのではなく、音楽と機織りをやりたいが故の選択だった……。      |
|     | 2 | 2018/9/3(月)<br>(参加：16名)                      | 「neko farm」                        | 吉田英治                          | 7回の転職経験を経て、なぜ、自然農の百姓に転身したのか？仕事(生業)に対する考え方の変遷を伺った。                                |
|     | 3 | 2018/10/3(水)<br>(参加：11名)                     | 「かご屋 moily」                        | 池宮聖美                          | 途上国の人たちのために仕事創る！との強い想いで多くの困難を突破。赤裸々に失敗談も語って頂いた。                                  |
|     | 4 | 2018/12/12(水)<br>(参加：7名)                     | 「山の薬膳ごはん よもぎ」 かなさん                 | 上野華江                          | 家族と共に囲む食卓の大切さを胸に、家族の健康を願って経営する自然食レストランへの想いを伺った。                                  |
| まとめ |   | 2019/3/9(土)<br>(参加：6名)                       | 場所：垂井町中山道垂井宿周辺、長浜屋                 | 藤塚勝久、杉本悦子                     | 中山道垂井宿や湧水などの地域資源をめぐる。また移住し起業された田内さんのお話をきいた。                                      |

#### 【成果】

本事業により、地域資源を活かし持続可能な地域を作る人材の発掘ができ、そうした人々の集うコミュニティが生まれたことが大きな成果であった。次年度は、育成された人材の活動を後押しする環境整備を目指し、まずはなりわいの切り口から地域循環共生圏を捉え、その構築の方途を導くための調査を行う予定。

## ②-2 人材発掘・育成



### 「資金調達よくばりセミナー」

- 日時：2018年9月9日（日）10:00～16:00  
※16:00～16:30 個別相談会
- 場所：土川商店 場所かさじゅう  
（岐阜県揖斐郡池田町宮地930）
- 協力：NPO法人ぎふNPOセンター、  
NPO法人校舎のない学校、  
池田町まちづくり工房霞溪舎、  
西濃環境NPOネットワーク、NPO法人泉京・垂井  
いびNPO法人連絡協議会



↑会場効果もあり、これまでにない若い層が参加

- 後援：岐阜県、安八町、池田町、揖斐川町、大野町、神戸町、関ヶ原町、垂井町、養老町、  
輪之内町、大垣市、海津市
- 参加者数：43名（目標数45名）＊一日参加：30名、午前のみ参加：5名、午後のみ参加：8名

#### ◆開催概要

「地域の団体の事業立案力強化」が必要との考察から、申請書書き方ワークショップを行うと同時に、地域課題に取り組む先進事例に学び、公益性のある活動で助成制度にいかに応募するかを学ぶ。

#### 午前の部 初めての申請書書き方講座

講師：小野弘人さん（NPO法人地域の未来・志援センター 理事  
一般財団法人セブン-イレブン記念財団  
地域活動支援マネージャー）

##### ◎午前プログラム1「資金調達総論」

非営利活動の資金調達にあたっての基礎知識、申請する上での注意点などを豊富なデータや実例をもとに講義。長年にわたるNPOサポート実績に基づく話に、参加者の高い満足度を得ることができました。（アンケート〈とても参考になった〉〈まあまあ参考になった〉を併せ100%）

##### ◎午前プログラム2「語ってみよう（グループワーク）」

自分が申請したい事業内容について、第三者にわかりやすく説明する練習を実施。第三者に語ることで、プランのどこが弱いのか？どこを補えば、アピール力が増すのかを考える練習を行いました。また、グループワークが出会いの場ともなり、昼食タイムに親交を温めるアイスブレイクともなりました。

##### ◎午前プログラム3「書いてみよう」（個人ワーク）

実際に申請書を書く練習ワーク「書いてみよう」。事業プランをたてることに不慣れな参加者が多いため申請必要事項をコンパクトにまとめたオリジナルワークシートを使用しました。



↑ワークシートに書いた内容を3～4人のグループに分かれて話し合い、発表し合いました。どの参加者も講師からのアドバイスをもち、6W3Hを意識してわかりやすく説明しようと一生懸命！



## 午後の部 資金調達対談 & 制度説明

### ◎午後プログラム1「資金調達対談」

～知っておきたいこんなこと&

サポートは積極的な問合せから～

池田町の「地方創生プロジェクト」に採択され、廃線の危機にある養老鉄道存続活動に取り組む高橋秀歩さんの体験談から、町のサポート(中間支援機能)の重要性、そして、事業者自身のPDCA(計画→実行→見直し→改善→実行)の大切さについてお話を伺いました。



### ◎午後プログラム2『助成制度説明』

①全国規模の助成制度説明「セブン-イレブン記念財団 2019年度環境市民活動助成」

②自治体の助成制度説明 「池田町町民くらしづくり活動団体支援金」

「池田町地方創生プロジェクト推進助成金」

③融資制度説明「小口の事業資金融資」「創業支援、地域活性化支援」



↑小野弘人さん  
セブン-イレブン記念財団



↑企画課 和田千怜さん(左)と  
小倉優里さん(右)  
池田町の助成制度説明



↑国民生活事業 融資第二課長  
上杉洋二さん  
少額融資について説明

### ◆団体の2極化への対応

(助成申請等のスキルの高い団体と、そうでない団体が2極化している状況)

本年度の「資金調達よくばりセミナー」開催までの流れ

＊～2015年度以前 名古屋などの都市部で実施

＊2016・2017年度 ヒアリングやアンケートから考察すると「地域の団体の事業立案力強化」が必要なのではないかとの結論

### ＊2018年度

■都市部ではなく地域に密着した助成金セミナーを実施したい

＊当団体と地域の中間支援組織連携によるサポート体制、参加目標人数の設定

↓  
■岐阜県の中間支援団体に相談：地域の拠点である土川商店開催を提案いただく

↓  
■池田町のまちづくりNPO(中間支援組織)に相談：協力依頼

↓  
■池田町に登壇、協力依頼

↓  
■スモールビジネスも対象にしたかったため銀行に登壇依頼をしたところ  
政策金融公庫さんを紹介していただく

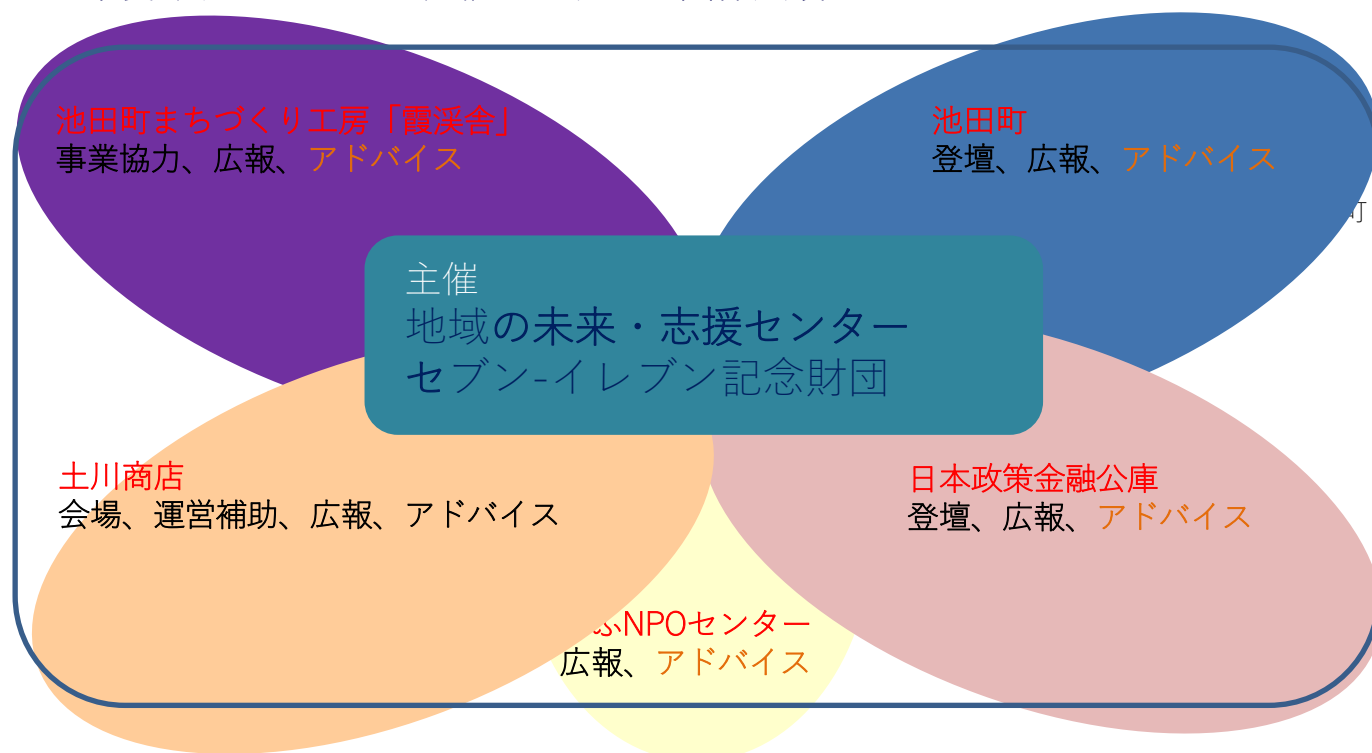
↓  
■広報協力を頂き、参加目標人数を上回る



## 団体の基盤強化のために大切なこと

= 現場を知っている人〈中間支援機能〉からのアドバイス←そのためのNPO・企業・行政の協働

## 2018年度 助成金セミナー開催で実現した団体支援のためのステークホルダー



【成果】セミナー開催後のサポート連携体制構築を視野に入れたセミナーのカタチが生まれた。団体の基盤強化、つまり助成金申請を自ら行えるような体制作りには、セミナー後のフォローアップが大切であるが、今回、地元で中間支援機能を果たす組織協力のもとでの開催により、そのカタチ(上図参照)が作られた。次回もこの経験を活かし、地元中間支援との連携開催を目指したい。

## 「助成金申請書書き方セミナー」

◆中津川市から講師派遣依頼を受けて実施

補助金申請に強くなる講座～思いを文章化編～

■日時：2019年1月31日（木）13:00～15:40

■場所：中津川市役所本庁舎4階 4-3会議室

■主催：中津川市 市民協働課

◎高山市の中間支援組織「まちづくりスポット」の紹介により実施

2015年度より3年間、高山市で行った「助成金申請書書き方講座」の実績により、中津川市から同講座の講師依頼を受けた。当日は地域密着の活動を行う15名の参加者に対し、申請したい事業プランを、いかに第三者にわかりやすく伝えるかを中心に書き方の練習を行うとともに、事業立案力向上の大切さを伝えた。

**補助金申請に強くなる講座**

\*\*\*\*\*

～思いを文章化編～

申請書作成のためのワークシートを使い、  
文章化していくためのコツを学びます。

参加を希望される方は、現在行っている活動や、今後実施していきたい活動について、**講座のワークシート**の項目をできるだけ詳しくご記入ください。当日までに添えてきてください。

＜内容（予定）＞

- ワークの説明
- 申請書の書き方ワーク
- 助成事業を語ってみよう
- 実際に書いてみよう

**講師：三ツ松 由有子 氏**  
(NPO 法人地域の未来・志援センター)

日 時：平成31年1月31日（木）  
13:00～15:40

場 所：中津川市役所本庁舎4階  
4-3会議室  
(中津川市かやの木町2-1)

定 員：20人（先着順）

参加費：無料

市に希望があれば、15:40～16:10まで個別相談実施予定

お問い合わせ：市民協働課 66-1111(内線325) FAX 65-5273  
E-mail kyodocity.nakatsugawa.lg.jp

### 【収支】

収入：1,210,318円

支出：1,177,260円

セブン-イレブン記念財団運営・事業助成、参加費収入、  
中津川市からの委託費  
人件費、通信費、広報、講師謝金、旅費交通費、会場賃借料、印刷製本等

## ②-3 人材発掘・育成

# NPOセンタースタッフ・スキルアップ支援

### 【目的】

持続可能な社会構築を目指し、地域の自治力向上を担うNPOセンタースタッフのスキルアップを支援。

### 【内容】

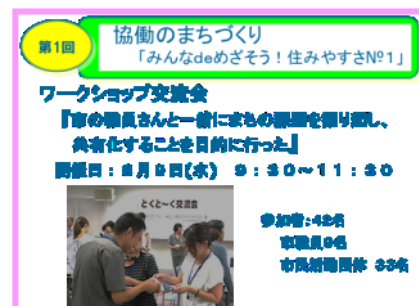
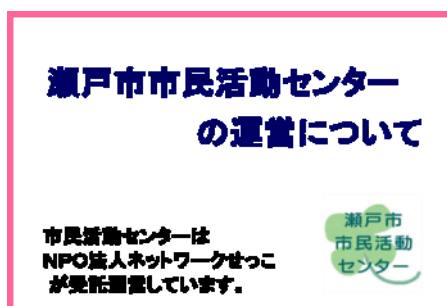
孤立しがちなセンタースタッフが、日頃の業務に役立つ情報交換や経験交流を行うための交流会を年2回程度開催。

| 実施概要                                                | 開催日                   | 内容                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第5回 瀬戸市開催<br>ゲスト：後藤昭子氏<br>(NPO法人ネットワークせとっこ事務局長)     | 7月30日<br>(月)          | 会場：瀬戸市市民活動センター 参加：24名（12センター）<br>巻き込み力満点の活動で市民活動を盛り上げる瀬戸市市民活動センター。その中心者後藤氏につながりづくりのコツとスタッフ間の共有についてお話を伺いました。                               |
| 第6回 名古屋市開催<br>ゲスト：三矢勝司氏<br>(NPO法人岡崎まち育てセンター・りた事務局長) | 2019年<br>2月25日<br>(月) | 会場：ウインクあいち 参加：32名（20センター）<br>市内に6拠点の市民活動センターを運営を持ち、まちづくり団体としてのぶれない軸を持つ他にない活動を行う『NPO岡崎まち育てセンター・りた』発足メンバー・三矢事務局次長をゲストに招き、スタッフの人材育成内容を伺いました。 |

### 第5回 【瀬戸市市民活動センターの取り組みより】

登録団体やボランティアの方々と一緒に

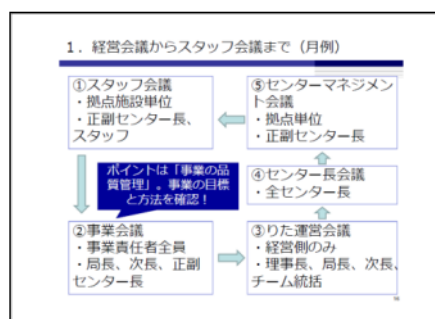
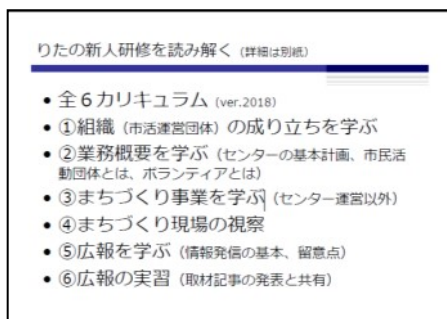
イベントを楽しく活発に企画運営していくために必要なこと



### 第6回 【岡崎まち育てセンター・りたの取り組みより】

岡崎市のセンターで行われているスタッフ人材育成プログラムに学ぶ

～センタースタッフにはナニが必要か？～



### 【収支】

収入 : 337,965円  
支出 : 337,922円

セブン-イレブン記念財団運営助成、参加費  
人件費、通信費、講師謝金、旅費交通費、会場賃借料等

【成果】4年目を迎え、本取り組みが東海地域のセンターに浸透し始めて参加者数も徐々に増えている。また、センター立ち上げ地域の研修の場として活用されるケースが現れ、第5回は愛知県豊川市より、第6回は岐阜県垂井町より、センター立ち上げ準備会メンバーが4～5名ずつ参加した。



## ②-4 人材発掘・育成

# 流域思考とSDG s を結ぶ人材育成→「未来創造プログラム」へ

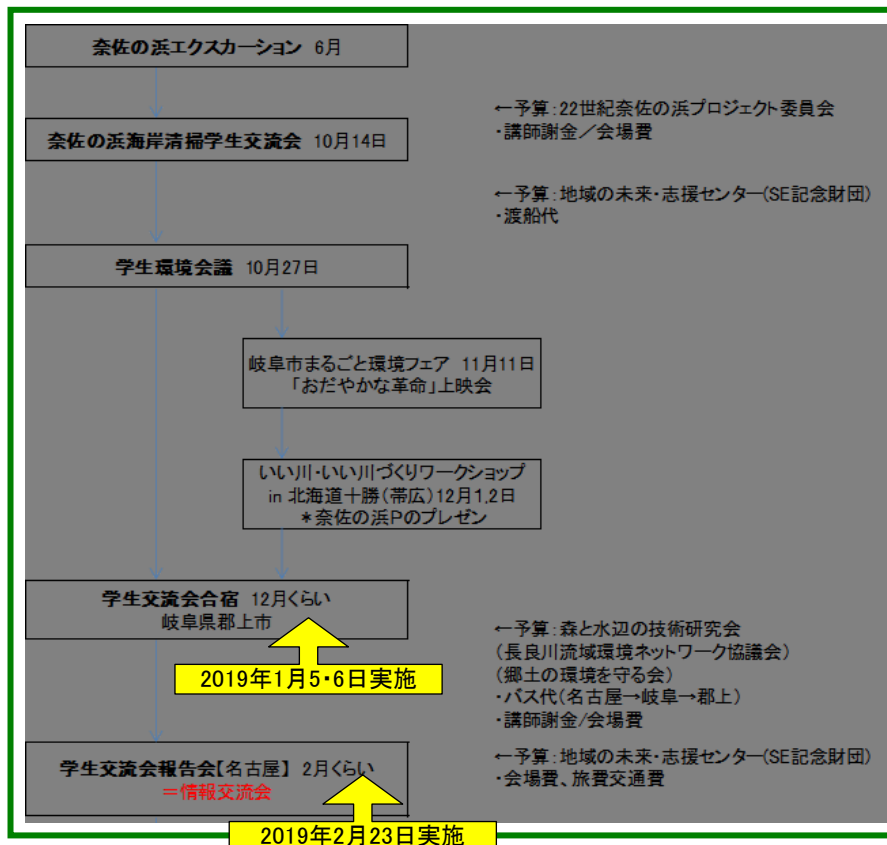
### 【目的】

3県の環境活動が培ってきた知見やノウハウ・貴重なフィールドを次世代に引き継ぐためのしくみづくり

### 【内容】

愛知・岐阜・三重をつなぐ中間支援ネットワークと協働で、下図のような若者自身が企画・運営を行う取り組みを実施。次年度より「未来創造プログラム」を開始する準備を行った。

### ◆次世代育成のための『未来創造プログラム』実験版実施実績



↑10月14日 ナガシマの浜海岸『学生交流会』



↑10月27日『学生環境会議』@岐阜市



↑1月5・6日『地域を知る石徹白合宿』



↑2月23日『情報交流会』

【成 果】上記準備を計画通り実施。その結果、22世紀ナガシマの浜プロジェクト委員会と協働で2019年度に「未来創造プログラム」実施が決定。すでに2019年度メンバーも決定(13名)。4月より学生主体の準備ミーティングを行い、活動を開始している。

|                        |                        | 10月                                                          | 11～1月                                 | 2～3月           |
|------------------------|------------------------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------|----------------|
| 全体ミーティング               |                        | 中間報告                                                         |                                       | まとめ            |
| 指定講座<br>(企画・運営参画)      |                        | ②答志島・学生交流会<br>③学生環境会議                                        | ④アースレンジャー<br>子ども会議<br>⑤学生視察合宿・懇<br>親会 | ⑥山川里海<br>情報交流会 |
| 実践講座(有志大<br>学生インターン制度) | ←←←←← 2019年度から実施 →→→→→ | も・あかばね塾「エコオリエンテーリング」<br>環境NPOネットワーク・揖斐川流域の取り組み<br>の取り組み(検討中) |                                       |                |

### 【収支】

収入 : 328,965円 セブン-イレブン記念財団運営助成  
支出 : 409,530円 人件費、印刷製本費、旅費交通費等



## ②-5 人材発掘・育成

### 地域デザイン実証事業

### 「豊森なりわい塾」 第八期

#### 【実施内容】

開講から10年目となる「第八期」。24人の塾生を迎えて5月に開講し、例年と同じく、毎月1回（土日2日間）、計11回（入塾式、修了式含む）の講座を実施した（卒塾21名）。

第八期の特徴は、女性比率の高さ、農山村への課題とつながりや、これからの自分のくらし・かせぎ・つとめを充実させたい塾生が多かった。

また、「豊森10周年ギャザリング」として、卒塾生たちが幹事となり、計画から準備を進め今回は3部制にて実施、一期から八期生たちが期を越えて集まった（第4回目）。

豊田市長、おいでん・さんそんセンタースタッフ、豊森事務局も含め76人が参加し、情報交流で盛り上がった。

農山村の暮らしに学び、これからの生き方や社会のカタチを考える人材育成のための塾として、それぞれに活躍する卒塾生たちのその後の生き方や新たな活動についての情報を、より多くのメンバーで共有することは、その成果を今後につなげていく意味で重要なことだと考える。

第九期は、豊田市内の中間支援組織「一般社団法人おいでん・さんそん」の事業として引き継がれることになった。当センターとしては、引継ぎを兼ね事務局サポートを継続する。

#### 【実施期間】

5月から3月まで毎月1回、第三土日の2日間の講座を実施



#### 【収支】

収入：13,676,238円 トヨタ自動車より受託金、講座参加費収入等

支出：14,065,439円 プロジェクトスタッフ人件費、外注費、謝金、旅費交通費、会議費等





### 3. 総会および理事会・運営会議の開催

#### 1. 第14回通常総会

- 【実施日時】 2018年8月12日(日) 14:30～15:35
- 【実施場所】 日本陶磁器センタービル 4 F 多目的ホール
- 【審議事項】 第1号議案 ①2017年度事業報告および②収支決算について  
第2号議案 ①2018年度事業計画および②活動予算について  
第3号議案 定款変更について  
第4号議案 役員の選任について

#### 2. 2018年度理事会

##### 第87回定例理事会

- 【実施日時】 2018年8月12日(日)
- 【実施場所】 地域の未来・志援センター 事務所
- 【出席者数】 6人
- 【内 容】 第14回通常総会提出議案の承認  
情報交流会について  
助成金セミナーについて

##### 第88回定例理事会

- 【実施日時】 2018年11月27日(火)
- 【実施場所】 地域の未来・志援センター 事務所
- 【出席者数】 7人
- 【内 容】 情報交流会について  
2019年度事業について

##### 第89回定例理事会

- 【実施日時】 2019年1月29日(火)
- 【実施場所】 地域の未来・志援センター 事務所
- 【出席者数】 5人
- 【内 容】 情報交流会について  
事務局体制について

##### 第90回定例理事会

- 【実施日時】 2019年5月28日(火)
- 【実施場所】 地域の未来・志援センター 事務所
- 【出席者数】 6人
- 【内 容】 2018年度理事体制について  
助成金セミナーについて

### 3. 2018年度運営会議

#### 第25回運営会議

- 【実施日時】 2018年7月5日（木）
- 【実施場所】 地域の未来・志援センター 事務所
- 【審議事項】 人材育成事業に関する提案  
中間支援機能の移行について

#### 第26回運営会議

- 【実施日時】 2018年10月29日（月）
- 【実施場所】 地域の未来・志援センター 事務所
- 【審議事項】 2019年度の体制と事業の方向性について  
未来創造プロジェクトについて

#### 第27回運営会議

- 【実施日時】 2019年2月12日（火）
- 【実施場所】 地域の未来・志援センター 事務所
- 【審議事項】 2019年度の事業について  
情報交流会について

#### 第28回運営会議

- 【実施日時】 2019年3月19日（火）
- 【実施場所】 地域の未来・志援センター 事務所
- 【審議事項】 2019年度S E申請内容について  
情報交流会について  
「未来創造プログラム」について



